



# 安心して暮らすため 協力し合う組織づくり

資母地区コミュニティセンター  
資母まちづくり協議会  
暮らしづくりプロジェクトリーダー

いわぶき かずひろ  
**岩吹 和弘さん**

但東町在住。自らで4代目となる理髪店を営んでいる。暮らしづくりプロジェクト兼空き家プロジェクトのリーダーを務め、人と人とのつながりを重視し、地域の方が安心して生活できるよう、チクタクとの連携や防災・福祉・空き家問題の解決のため、活動している。



▲コミュニティセンターで交流会などを実施し、定期的に地域の方とコミュニケーションを取っています。

資母地区では、高齢化が進んでいます。私たちは、住民が交流できる場を作ること、顔見知りを増やし、お互いに見守ることができる地域づくりを目指しています。こうした取組みは、防災・福祉・空き家問題の解消につながると考えています。

私は仕事柄、地域の方と接する機会が多く、生活している方の困りごとが耳に入ってきやすいです。例えば、免許を返納して買い物に行けないと困っている方には、乗り合いバスの利用を提案しています。

車の運転やサロンに参加しお茶を飲みながら話を聴くなど、ご自身ができることで協力してくれる方が増えると嬉しいです。

試行錯誤しながら、自ら考え行動してうまくいったときや、活動をきっかけに、コミュニティを中心に人が集まったり、人の輪が広がったりすることに喜びとやりがいを感じています。

これからも「人が集い、ともに考え、安心して暮らせる資母」が深く根付くような活動をしていきます。

## Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—



城崎大橋が完成しました。5月31日に開通式が行われ、地元住民ら約500人が渡り初めを行いました。新城崎大橋は、旧城崎大橋下流約1kmの地点に建設され、地域の長年の夢が結実しました。

式典では、城崎大橋架橋・桃島バイパス整備促進期成同盟会の高宮浩之会長が「最先端の技術が詰まった橋が完成しました。計画から25年、橋の完成に関わられた方々へ感謝します」と述べ、新城崎大橋の完成を心から喜びました。旧城崎大橋の撤去工事は今秋から行われる予定です。

城崎大橋開通  
自動車・歩行者・自転車の通行がより安全に



トライやる・ウィークが6月2日から6日まで行われ、学校を離れ、地域で職場体験、地域文化体験などに取り組みました。市役所へは木谷陽さんが体験に来られました。

体験の最終日には、秘書広報課で取材体験や広報紙の作成などを行いました。木谷さんは、1週間を通して「市役所には思っていたよりもいろいろな仕事があることを知ることができました。市役所に来ることができてよかったです」と話していました。(24ページに作成した記事を掲載)

中学2年生・義務教育学校8年生653人が参加

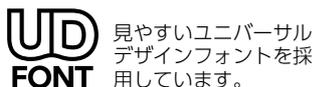
豊岡市 SNS



各施設・事業の SNS



※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。



環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。